公益社団法人
日本ロジスティクス システム協会
JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS

後援：経済産業省(申請予定)・国土交通省

第47期

「オンライン＋集合」開催

※講義はオンライン、演習指導・グループワークはJILS研修室（東京都港区）で行います。

国際物流管理士 資格認定講座

International Logistics Master Course

開催日程

第47期（2025年度）

第１単元：９月 10 日(水)
第２単元：９月 11 日(木)・18 日(木)・19 日(金)
第３単元：10 月 8 日(水)・9 日(木)
第４単元：10 月 16 日(木)
現地見学：10 月下旬 東京港コンテナターミナル（現地見学：東京都品川区）
　　11 月下旬 成田空港貨物ハンドリング施設（オンライン見学）
第５単元：10 月 17 日(金)
　　11 月 5 日(水)・6 日(木)
第６単元：11 月 20 日(木)・21 日(金)
第７単元：12 月 4 日(木)・5 日(金)
第８単元：1 月 14 日(水)・15 日(木)
第９単元：2 月 5 日(木)・6 日(金)
認定証授与式：3 月 13 日(金)

※9月10・11日、11月5・6日、2月5・6日は集合開催です。

本講座ではこのような人材を育てます

- ▶ 国際物流の基本から法規制や最新動向まで理解し、海外でのサプライチェーンの構築・改善ができる人材
- ▶ 顧客に対して国際物流を含めた企画提案ができる人材
- ▶ 将来の海外駐在員としてグローバル視点を持ってマネジメントができる人材

ぜひ、貴社内の国際ビジネス、国際物流、SCMにかかわる部署の方々にも本パンフレットをご回覧ください

【製　造　業】
国際物流部・グローバル企画部・海外営業推進部・SCM 部 等

【物流事業者】
国際事業推進部・グローバル統括部・海外オペレーション部・通関保税部 等

詳細・お申込

https://www1.logistics.or.jp/education/ilm.html

受講説明会

オンライン受講説明会を開催します（2025年6月19日（木）午後・7月25日（金）午後）
※講演内容は各回に依りますが、講座説明部分は共通です。

第47期『国際物流管理士資格認定講座』開催にあたって

グローバル化が進展するなか、企業が国際競争を勝ち抜くうえでロジスティクス管理の重要性が高まっています。製造業や流通業等の荷主企業は、グローバルな視点から物流拠点の配置を考え、調達先から消費地までのグローバルロジスティクス構築を目指す必要があります。そのため、国際物流のシステム革新やローコストオペレーションの推進が不可欠です。一方、物流企業は、顧客である荷主のグローバルロジスティクス構築に対して重要な役割を果たしており、荷主の国際物流の見直しや効率化を支援するためのシステム提案が求められています。

さらに、米国関税ショックや地域紛争等の影響を受けたサプライチェーン寸断への対応や DX（デジタルトランスフォーメーション）推進、サステナビリティの追求の視点から、これまでの物流の見直しを迫られています。これらの課題に対処するためには、自社や顧客のビジネスを理解し、国際物流の専門知識と管理技術を持つスペシャリストが不可欠です。

「国際物流管理士資格認定講座」は、わが国唯一の国際物流のスペシャリスト育成講座として1979年の開講以降、1,678名の「国際物流管理士」を輩出し、産業界から非常に高い評価を受けています。第47期を迎える本講座は、最新の動向を踏まえつつ、広範な国際物流について概論から応用までわかりやすく解説し、企業事例や物流施設見学、グループ討議、ケーススタディなどを取り入れ、実務に直結するカリキュラムを提供しています。また、大部分の講義をオンラインで受講できます。

国際物流のスペシャリスト育成に、ぜひ本講座をご活用くださいますようお願い申しあげます。

国際物流管理士専門委員会
委員長　林　克彦
（流通経済大学 流通情報学部 大学院 物流情報学研究科 教授）

国際物流を担う人材に関して、ご要望はありませんか？

- 国を跨ぐ調達・生産・物流といったサプライチェーンの構築・改善について企画・立案・実践・見直しができる人材を育てたい。
- 国際物流の現状を把握した上で、課題の設定や解決に向けた中心的な役割を担うリーダーを育成したい。
- 顧客のニーズを的確に捉え、シーズの発掘を積極的に行うことができる、企画提案力を持った人材を育成したい。
- 顧客に対し、国際物流を含めた複合提案ができるような人材を育てたい。
- 多国間取引の増加に伴い、国際物流の基本や最近の FTA ／ EPA の条約等の国際法規・ルールを習得した、国際物流のスペシャリストを育成したい。
- 次代の海外駐在員として、各国の物流事情の把握、現地マネジメント手法を身につけた、グローバル視点を持つ人材を育てたい。

本講座では、実務への応用が可能なスキルを身につけていただきます

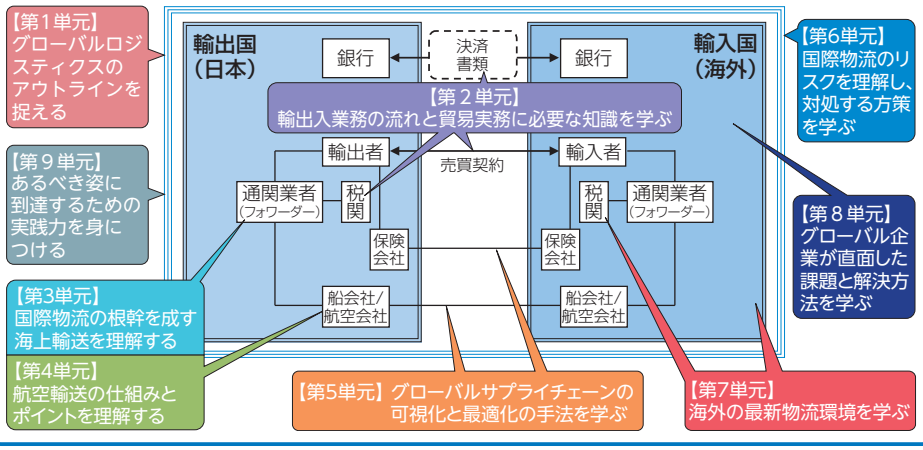
- 国際物流に関する**専門知識**や**マネジメント技術**、**最新情報**や**企業事例**を総合的に学べます！
- 集合形式での**グループ討議**や**ケーススタディ**を通じて、**実践力**を習得します！
- **様々な業種・役職**の方々との交流を深め、実務では得がたい**ヒューマンネットワーク（人脈）**を構築します！
- **世界**で使える**わが国唯一**の**国際物流スペシャリスト**の証**「国際物流管理士 International Logistics Master」**の資格が得られます！

国際物流管理士に期待される到達レベル

①国際物流やグローバルロジスティクスに関する専門知識を有し、実務で活かすことができる。
②自社の物流の現状を把握し、問題発見や解決すべき課題を設定することができる。
③課題解決策を立案し、国内外問わず、社内外の関係者の理解と協力を得ながら実行することができ、さらにその効果を評価することができる。
④グローバルレベルで全体最適を志向し、幅広い視点で新たな事業やサービスを企画・提案することができる。
⑤海外赴任先において、異なった価値観や習慣を持つ現地スタッフに対して、指導や権限委譲を行いながら、チームとしてまとめ、実務を遂行することができる。

第47期国際物流管理士資格認定講座カリキュラム

「国際物流の領域」と各単元の位置づけ（日本からの輸出の例）



第47期
国際物流管理士資格認定講座 カリキュラム

＊講師の都合等によりスケジュールに変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

会場 JILS研修室（東京都港区）

第1単元 グローバルロジスティクスのアウトラインを捉える

国際物流から、ロジスティクス、サプライチェーンへの展開を学び、次単元以降の講義を理解するための基盤を作る。またグループ討議を通じて、課題解決への実践的な考え方を学び、受講者間で交流し、多様な立場、役割の理解とヒューマンネットワークの形成を図る。

（敬称略・2025年5月現在）

日　程	時　間	講義テーマ	講義内容	講　師
2025年 9月10日（水）	9:30～ 9:45	**開講式**		
	9:45～10:00	**講座オリエンテーション**	修了要件・認定要件・レポート等、本講座の規程に関する説明をします。	**事務局**
	10:00～10:20	**前期総代による講演**	講座を受講するにあたってのポイント、体験談やアドバイス	
	10:30～12:00	**国際物流とロジスティクス**	物流とロジスティクス、国内と国際の違い、国際物流の形態の変化、マーケティングと物流、国際物流・ロジスティクスのリーダーに求められる知識・能力とは	**林　克彦** 流通経済大学 流通情報学部 大学院物流情報学研究科 教授 （大学院物流情報学研究科長）
	12:45～16:55	**グループ討議 国際物流の現状・自社の課題認識と解決の考え方**	グローバルサプライチェーンを理解し、国際物流の現状や自社の課題をグループで共有し、原因の分析や解決に向けた取り組みについてグループで討議します。	**林　克彦** 流通経済大学 流通情報学部 大学院物流情報学研究科 教授 （大学院物流情報学研究科長）
	17:15～19:00	**キックオフミーティング（交流会）**	受講生間での交流の機会	

9/11 会場 JILS研修室（東京都港区）　9/18-19 オンライン開催

第2単元 輸出入業務の流れと貿易実務に必要な知識を学ぶ

国際物流の業務に携わるうえで、輸出入業務に関わる通関 、条約、インコタームズ、決済 、外国為替 、国際ファイナンス等事項の理解、習得は不可欠である。本単元では、貿易取引のデジタル化（Fintech）等の最新動向を盛り込みながら、輸出入業務について、基礎からわかりやすく解説する。

（敬称略・2025年5月現在）

日　程	時　間	講義テーマ	講義内容	講　師
9月11日（木）	9:30～16:55	**貿易取引の全体像・基礎知識、貿易売買契約と各種決済方法、外国為替とリスクヘッジ、国際ファイナンス**	貿易取引の全体像・基礎知識、貿易取引の流れ、信用状統一規則、銀行の外国為替業務、輸出入取引の流れと留意すべきポイント、リスクヘッジ	**井上　泰伸** 日本貿易学会 会員 / 神奈川大学 経済学部 非常勤講師
9月18日（木）	9:30～12:00	**海外コンプライアンス、貿易電子化、貿易取引のデジタル化（FinTech）**	海外コンプライアンス（SWIFT排除、資産凍結など経済制裁）の構造・リスク、貿易取引のデジタル化におけるFinTech（ブロックチェーン技術）の活用	**花木　正孝** 近畿大学 経営学部 大学院 商学研究科 教授（商学科 貿易・ファイナンスコース主任）/貿易デジタル変革研究会 会長
	12:45～16:55	**FTA と EPA、原産地規則、AEO制度**	FTAとEPAとは、EPAのメリット、わが国が締結しているFTA／EPA、原産地規則の概要・適用税率、適用の条件、AEO制度の概要	**宮崎　千秋** ㈱東京共同トレード・コンプライアンスシニアアドバイザー / GTRセンター代表
9月19日（金）	9:30～12:00	**輸出入における通関業務と保税手続き、通関システム**	輸出入通関について、関係法令について、三国間貿易について、輸入貨物の課税価格の決定、確認のポイント、保税制度、非違事例	**東京通関業会通関士部会**
	12:45～14:45	**インコタームズ、ウィーン売買条約**	トレードタームズ（定型取引条件）とは、インコタームズ2020の概要、ウィーン売買条約のポイント	**田口　尚志** 早稲田大学 商学学術院 商学部 教授
	14:55～16:55	**グローバル生産を支えるロジスティクス**	海外生産を行う顧客企業の要望に応えるために、国際物流企業はどのような知見が必要かを事例を交え、一緒に考えます。	**山内　秀樹** 国際物流コンサルタント / 早稲田大学 非常勤講師
レポート提出日		**2025年10月3日（金）13:00まで**		

オンライン開催

第3単元 国際物流の根幹を成す海上輸送を理解する

海上貨物輸送は、全世界における貿易の約９割（重量基準）を占めており、国際物流を進めるうえで、その理解は不可欠である。本単元では、国際海上貨物輸送産業の概論から輸送技術、主たるプレイヤーの役割、フォワーダーのデジタル化事例を解説する。

（敬称略・2025年5月現在）

日　程	時　間	講義テーマ	講義内容	講　師
2025年 10月8日（水）	9:30～12:00	**国際海上貨物輸送概論**	国際海運業の概要、コンテナ貨物の荷動きとコンテナ航路網、船腹需給と運賃市況、アライアンス変化、物流チョークポイントと紅海情勢、共同海損、環境対応とDigitalization	**原　源太郎** 日本郵船㈱ 調査グループ グループ長代理
	12:45～14:45	**海上輸送用コンテナの構造、技術に関して**	国際物流に用いる海上コンテナの概要（種類、サイズ、特徴）、取り扱いにおける注意点について（ドライ、リーファー）	**田中　克明** オーシャン ネットワーク エクスプレス ジャパン㈱ CP本部 SYM部 M&R課 シニアアドバイザー
	14:55～16:55	**海上運送における特殊貨物（危険物）概論**	危険物海上輸送の基礎知識（クラス・容器等級・試験方法と判定基準等）、容器包装、運送手続き（表示方法・運送書類への記載事項等）、運送方法	**細川　満帆** （一社）日本海事検定協会 安全技術室 課長
10月9日（木）	9:30～12:00	**フォワーダーとNVOCC、国際複合輸送**	フォワーダーとNVOCCの違い、国際複合輸送ルートの特徴と問題点、輸入フォワーディング業務の流れ、仲介貿易、運賃	**富永　祐子** ㈱日新 執行役員
	12:45～14:45	**海上個品運送契約 / 船荷証券 /Sea Waybill/ 複合運送証券**	運送契約、船荷証券、電子船荷証券、海上運送状、船荷証券統一条約、Japan COGSAの概要、船荷証券約款、複合運送証券	**津田　勝也** 弁護士 弁護士法人岡部・山口法律事務所
	14:55～16:55	**フォワーダーのデジタル化動向**	グローバルで進んでいるフォワーダーのデジタル化動向を踏まえつつ、デジタルフォワーディングとは何かを解説します。	**田阪　幹雄** ㈱NX総合研究所 リサーチフェロー
	16:55～17:00	**第５単元グループ討議 事前準備レポート出題**	第５単元のグループ討議の事前準備レポートについて、事務局よりテーマ等の説明をします。	**事務局**
レポート提出日		2025年10月23日（木）13:00まで		

オンライン開催

第4単元 航空輸送の仕組みとポイントを理解する

商品ライフサイクルの短縮化やグローバルにおける在庫の最小化への対応を進めるうえで、航空貨物輸送の果たすべき役割は大きい。本単元では、航空産業、航空貨物輸送市場の概要、最新動向を解説するとともに、航空輸送の仕組みとそのポイントを解説する。

（敬称略・2025年5月現在）

日　程	時　間	講義テーマ	講義内容	講　師
10月16日（木）	9:30～12:00	**航空産業概論、航空貨物輸送概論、航空協定**	航空輸送の現状、市場、航空輸送の仕組み（メリット・種類・業務フロー等）と輸送環境	**㈱ ANA Cargo**
	12:45～16:55	**航空運送約款と航空運送状、航空貨物運賃**	航空輸送に関わる条約・約款、運賃の算出方法・Chargeable Weightの決定方法	
レポート提出日		2025年10月30日（木）13:00まで		

10/17 オンライン開催　11/5-6 会場 JILS研修室（東京都港区）

第5単元 グローバルサプライチェーンの可視化と最適化の手法を学ぶ

物流・ロジスティクスの高度化を考えるうえで、在庫管理やSCM、3PLは、重要なテーマである。本単元では、それらの理論とともに実例を交えて解説する。また、設定したケースに基づくグループ討議・発表に取り組むことで、情報収集・整理の仕方や、グループでの企画・提案力を身に着ける。

（敬称略・2025年5月現在）

日　程	時　間	講義テーマ	講義内容	講　師
10月17日（金）	9:30～12:00	**国際物流におけるコストとKPIの算定と既存業務プロセスの見直し**	ＫＰＩに必要な要素、「現地化」とロジスティクスの転換事例、プラットフォーム戦略、業務プロセス改革担当者の条件、グローバル・ロジスティクスミックス	**橋本　雅隆** 明治大学 専門職大学院 グローバル・ビジネス研究科 教授
	12:45～14:45	**サプライチェーン・マネジメント（SCM）の基礎とその最適化**	ＳＣＭとは？ＳＣＭの重要性、ＳＣＭ最適化のための改善方法、ＳＣＭ最適化事例を紹介します。	**石垣　嘉文** ㈱クニエ SCMチーム プリンシパル
	14:55～16:55	**グローバルサプライチェーンの各種改善手法～SCMのベスト・プラクティス～**	SCMを最適に行うための代表的なベスト・プラクティス（ある結果を得るのに最も効率の良い技法、手法、プロセス、活動などのこと）を知る	
11月5日（水）	9:30～12:00	**3PL概論**	3PLとは、日本と海外の3PLの現状、なぜ3PLなのか、3PL化で注意すべき点・必要なこと、国際物流の3PL化	**中谷　祐治** ロジ・ソリューション㈱ 取締役 経営戦略担当
	12:45～14:45	**国際物流における３PL導入事例**	荷主から見る３PL戦略の策定要素・選定基準・審査イメージ、グローバル企業での３PLの選定事例	**田中　秀憲** ヴィアトリス製薬（同）ロジスティクス部ディレクター
	14:55～16:55	**国際物流における３PLの実践事例**	3PLの考え方、国際物流における事例、荷主の課題解決支援プロセス、今後の輸送サービスの展望	**尾上 清** 日本通運㈱ モビリティセールス部 顧問
11月6日（木）	9:30～16:55	**グループ討議**	設定されたいくつかのケースに基づき、事前準備レポートでの考察を踏まえつつ、グループ内で解決に向けた方策を検討し、全体発表を行います。	**中谷　祐治** ロジ・ソリューション㈱ 取締役 経営戦略担当
レポート提出日		2025年11月20日（木）13:00まで		

現地見学会 国際物流の最前線を、見学して感じる

国際の物流施設等を見学することで、輸送機関の特徴や、国際物流における現場、オペレーションに関する理解を深める。

（敬称略・2025年5月現在）

日　程	時　間	講義テーマ	講義内容	講　師
10月下旬（調整中）	午後	**現地見学 / 大井ふ頭 コンテナターミナル**	東京港のコンテナターミナルを見学します。	**日本郵船㈱**
11月下旬（調整中）	13:30〜15:30	**オンライン見学 / 成田空港 貨物ハンドリング施設**	航空貨物のハンドリングをオンラインで見学します。	**㈱ ANA Cargo**

※10月下旬のコンテナターミナル見学は、集合開催です。（東京都品川区）

オンライン開催

第6単元 国際物流のリスクを理解し、対処する方策を学ぶ

企業活動におけるリスクマネジメントの重要性はますます高まっている。本単元では、国際物流におけるリスクの概要と、特に重要となる貨物事故防止対策、並びに貿易貨物保険とクレーム手続のポイントについて解説する。

（敬称略・2025年5月現在）

日　程	時　間	講義テーマ	講義内容	講　師
11月20日（木）	9:30〜12:00	**国際物流のロスプリベンション**	現場から見た国際物流クレームの現状とロスプリベンション検討の実例	**能勢　正貴** （一社）日本海事検定協会 千葉事業所 部長
	12:45〜16:55	**国際物流におけるリスクマネジメント事情、リスクマネジメント・ワークショップ**	昨今のリスク事象、リスクアセスメントとリスクマネジメントの考え方、グローバル企業にみるリスクマネジメント活動、リスクマネジメントワークショップ	**原　敬徳** SOMPO リスクマネジメント㈱ 取締役執行役員 首席コンサルタント
11月21日（金）	9:30〜12:00	**リスクマネジメント・BCP 概論**	物流に関わるリスクとは、リスクマネジメントとは、基本的な進め方（リスク特定・分析・評価）と留意点、企業の取り組み事例、BCP 概論	**田代　邦幸** （同）Office SRC 代表
	12:45〜16:55	**貿易貨物保険とクレームの実務**	外航貨物海上保険の特色、貨物海上契約について（約款の説明）、貨物海上保険におけるリスクの判定と保険料率の算定、クレーム手続き	**髙野　浩司** 東京海上日動火災保険㈱ 海上業務部 貨物業務グループシニアエキスパート
レポート提出日	**2025年12月5日（金）13:00まで**			

オンライン開催

第7単元 海外の最新物流環境を学ぶ

物流コストを削減しつつ、高品質な国際物流を構築するためには、海外の物流状況を把握することが不可欠である。本単元では、各地域における物流インフラ、通関等の物流事情について、最新事情を盛り込みながら解説する。

（敬称略・2025年5月現在）

日　程	時　間	講義テーマ	講義内容	講　師
12月4日（木）	9:30〜12:00	**中国の最新物流事情**	中国経済と物流事情、中国物流の変遷、中国物流の難しさ、保税制度の重要性、関連規制の説明、事例の紹介	**栗田　幸武** ㈱アルプス物流 常務執行役員 事業本部長、国際事業部長、輸出入事業担当
	12:45〜14:45	**ASEAN の最新物流事情**	日本・ASEANを取り巻く現状、ASEAN新興国が注目される理由、ASEAN域内の産業別動向（コールドチェーン等）、ASEANの今後	**（一財）運輸総合研究所 アセアン・インド地域事務所（JTTRI-AIRO）**
	14:50〜16:55	**中国の国内およびアセアンへの物流戦略**	中国における国内の物流政策の動向と、一帯一路戦略の今後や、インド、台湾、アセアンとの国際物流政策について解説します。	**町田　一兵** 明治大学 商学部 教授
12月5日（金）	9:30〜12:00	**米国の最新物流事情**	米国貨物輸送の概観、物流にとって重要な都市と物流システムの展開、米国の輸出入制度	**田阪　幹雄** ㈱ NX 総合研究所 リサーチフェロー
	12:45〜14:45	**欧州の最新物流事情**	欧州における物流事業の取り組み事例、EU の概要と日本との関係、各国のインフラ事情（航空・海上）、地域別の物流事情	**藤田　美樹** ライトコンサルティング 代表
	14:55〜16:55	**インドの最新物流事情**	インドの物流について同様の人口を擁する中国の物流と比較しながら、インドの経済成長と物流がどのような関係になっていくかを説明し、インドに進出する際の検討すべきポイントを解説します。	**樋口　恵一** 川崎陸送㈱ 代表取締役社長

オンライン開催

第8単元 グローバル企業が直面した課題と解決方法を学ぶ

経済成長が著しい中国や東南アジア等の新興国では、現地における物流拠点の構築・マネジメントの重要性がますます高まっている。本単元では、これらの取り組みを進めるうえでのポイントについて解説する。また、駐在経験者による座談会を通じて、受講者のグローバル意識を高める。

（敬称略・2025年5月現在）

日　程	時　間	講義テーマ	講義内容	講　師
2026年 1月14日（水）	9:30〜12:00	**SCMの視点から取り組む海外現地における改善活動**	各地で直面していた物流課題と解決に向けた取り組みの紹介、SCM・ロジスティクス管理のあり方・業務診断のチェックポイント	**魚住　和宏** SCMソリューションデザイン 代表／神奈川大学 経済学部 非常勤講師
		海外駐在における駐在員の役割と心得	駐在員の役割（簡単な財務分析手法、物流管理のあり方）、海外駐在員が遭遇しやすいリスク（私生活・仕事）への対応	
	12:45〜14:45	**グローバルサプライチェーンとテクノロジートレンド**	EC市場の成長や、デジタル化、労働力不足、サステナビリティという文脈のなかで、倉庫の自動化等における最新テクノロジー活用の取組みについて解説します	**武田　一哉** ソフトバンクロボティクス㈱ ロジスティクス事業本部 事業推進統括部 統括部長／国際物流管理士
	14:55〜16:55	**電機産業におけるグローバルロジスティクスの改善事例**	企業活動のグローバル化が進むなかで、直面する課題解決のために取り組んできたグローバルロジスティクスの改善内容を実例をあげて解説する。	**脇田　哲也** SBS東芝ロジスティクス㈱ コンサルティング営業技術部 コンサルティング技術第一担当 参与
1月15日（木）	9:30〜10:30	**客観試験**	第2〜6単元までの各講義内容から出題	**事務局**
	11:00〜12:00	**駐在経験者による座談会**	海外駐在経験者による現地での経験（気づき、現地経営の工夫）やキャリアに関する生の声を聞き、全体討議を行うことで、国際物流のスペシャリストとしてグローバル意識を高める機会とします。	**桜井　正応** ㈱日新 通関部長 **中丸　睦美** 三菱電機トレーディング㈱ ロジスティクス部 部長代理／国際物流管理士 **北崎　淳** NXアメリカ㈱／国際物流管理士
	12:45〜14:45	**アパレル産業のグローバルサプライチェーン構築における物流サステナビリティへの要請**	アパレル産業におけるグローバルサプライチェーンについて	**山内　秀樹** 国際物流コンサルタント／早稲田大学 非常勤講師
	14:55〜16:55	**自動車のグローバルサプライチェーン事例**	自動車のグローバルサプライチェーンについて	**中村　吉明** 専修大学 経済学部 教授

会場 JILS研修室（東京都港区）

第9単元 あるべき姿に到達するための実践力を身につける

グローバルな事業展開を行っている企業のロジスティクス改革をテーマに据えたケーススタディにグループで取り組む。サプライチェーンマップ分析や在庫分析等、SCMの視点に立った課題抽出方策や改革・改善技法を学ぶ。

（敬称略・2025年5月現在）

日　程	時　間	講義テーマ	講義内容	講　師
2月5日（木） 2月6日（金）	9:30〜16:55	**ケーススタディ 「グローバルロジスティクス改革」**	グローバルな事業展開を行っている企業のロジスティクス改革をテーマに、サプライチェーンマップ分析や在庫分析等、SCMの視点に立った課題、抽出方策や改革・改善技法をグループ討議を通じて学びます。	**魚住　和宏** SCMソリューションデザイン 代表／神奈川大学 経済学部 非常勤講師

JILS研修室（東京）

資格認定証授与式

当講座の修了基準を全て満たした受講者には、「国際物流管理士（International Logistics Master）」の資格を授与する（累計取得者数：1,678名、2025年5月現在）。

日　程	時　間		講　師
3月13日（金）	15:00〜17:00	**資格認定証授与式／懇親会**	**委員長、副委員長**

※資格認定証授与式は、JILS研修室で実施予定です。

本講座の受講イメージ

▶講義

▶現地見学

※本講座の講義はオンラインで行います。演習指導・グループワークは、集合形式（会場）で行います。現地見学は、集合・オンラインで各1回行います。

資格認定について

修了基準

ⅰ）14日以上出席すること。
ⅱ）該当する単元で出題されるレポート試験を全て受験していること。
ⅲ）客観試験を受験していること。
ⅳ）第９単元「ケーススタディ」に２日間出席すること。

合格基準

	①レポート試験（５回）					②客観試験	③欠席減点	④総合平均点 {(①+②)÷6}-③
	第２単元	第３単元	第４単元	第５単元	第６単元			
配　　点	100点	100点	100点	100点	100点	100点	1日欠席：1点減点 半日欠席：0.5点減点	100点
合格基準	70点以上	70点以上	70点以上	70点以上	70点以上	70点以上		70点以上
提出日 / 実施日	10月3日（金）	10月23日(木)	10月30日(木)	11月20日(木)	12月5日（金）	1月15日(木)		

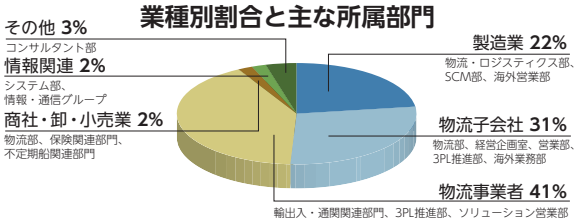
※資格認定規程の詳細は、講座の開講時に、事務局よりご説明いたします。

講座受講者の所属（例）▶

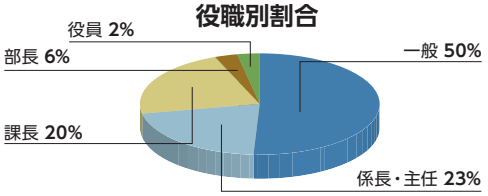
製　造　業：国際物流部・グローバル企画部・海外営業推進部・SCM 部　等
物流事業者：国際事業推進部・グローバル統括部・海外オペレーション部・通関保税部　等
ぜひ、貴社内の国際ビジネス、国際物流、SCM にかかわる部署の方々にも本パンフレットをご回覧ください。

過去の国際物流管理士資格認定講座 受講者属性

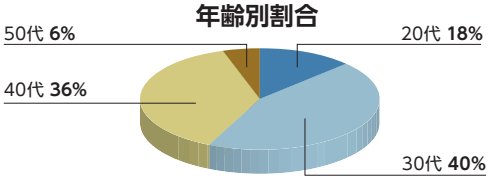
業種別割合と主な所属部門



役職別割合



年齢別割合



国際物流管理士資格認定講座 資格取得者の声

高橋　絵美子 氏（株式会社イトーヨーカ堂　海外部）

株式会社イトーヨーカ堂は、衣料品・住居品・食料品を提供する小売業として、1920年の創業から続く「信頼と誠実」の精神のもと、よりよい商品の提供に努めています。私の所属する海外部では、自社及びグループ関連会社の店舗に並ぶ商品や原料の一部を、海外工場から直接輸入し、国内の共配センターへ納品するまでの貿易実務を担っています。変化の激しい国際物流環境の最新情報・仕組みを知り、自社の仕組みの見直しや効率化のための知見を拡げるため、サプライチェーンにおける国際物流改善の基礎から応用まで総合的に学べる本講座を受講しました。

講座では、国際物流の経験に長けた講師陣から理論、知識、技術、見識を体系的に学んだ他、最新の国際物流情報を織り込みながら、「あるべき姿」を目指す意識や姿勢を学ぶことができました。また、知識を得るだけではなく人脈や視野を拡げる機会ともなり、講師の先生方からはもちろん、立場や分野の異なる受講生同士の意見交換からも非常に刺激を受け、貴重な機会となりました。現地見学以外はオンラインでの開催で、講義の時間帯も配慮されており、遠方からの受講者も多く、私も時短勤務中ですが無理なく受講できました。

ここ数年で、物流やロジスティクスがニュースなどでも大きく取り上げられ注目されるようになり、国内外問わずたくさんの課題があることを日々感じます。本講座を通して学んだ知識や取り組み方に加え、今後も経験を積み重ねながら、国際物流のスペシャリストとして社内外の国際物流・サプライチェーンの最適化を目指して参ります。

国際物流管理士専門委員会 委員名簿

本講座は、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会が主催し、第一線で活動している学識経験者や実務家で構成された国際物流管理士専門委員会によって企画・運営されています。

（敬称略・順不同・2025年4月30日現在）

委 員 長	林　　克彦	流通経済大学 流通情報学部 大学院 物流情報学研究科 教授 兼 大学院物流情報学研究科長
副委員長	魚住　和宏	SCMソリューションデザイン 代表 / 神奈川大学 経済学部 非常勤講師
副委員長	田阪　幹雄	㈱NX総合研究所 リサーチフェロー
委　　員	栗田　幸武	㈱アルプス物流 常務執行役員、事業本部長、国際事業部長、輸出入事業担当
委　　員	星野由美子	㈱イトーヨーカ堂 海外部 総括マネジャー
委　　員	折尾　和孝	㈱ANA Cargo 総務人事部 総務人事部長 エデュケーションセンター長
委　　員	石原　伸志	神奈川大学 アジア研究センター 客員研究員
委　　員	石川　雅啓	近畿大学 経営学部商学科 准教授 / グローバルBiz専門職大学 教授 / 流通経済大学 非常勤講師 / 東京海洋大学 非常勤講師
委　　員	山内　秀樹	国際ビジネスコンサルタント / 早稲田大学 非常勤講師
委　　員	中村　吉明	専修大学　経済学部 教授
委　　員	武田　一哉	ソフトバンクロボティクス㈱ ロジスティクス事業本部 事業推進統括部 統括部長
委　　員	髙野　浩司	東京海上日動火災保険㈱ 海上業務部 貨物業務グループ シニアエキスパート
委　　員	桜井　正応	㈱日新 通関部長
委　　員	能勢　正貴	(一社)日本海事検定協会 千葉事業所 部長
委　　員	梶原　幸絵	㈱日本海事新聞 編集局 編集部 記者・コンテナ物流チームリーダー
委　　員	岡田　哲郎	日本郵船㈱ 法務・フェアトレード推進グループ グループ長代理
委　　員	味水　佑毅	流通経済大学 流通情報学部 大学院 物流情報学研究科 教授

受 講 申 込 規 程

●受　講　料

◆当協会会員 …… 受講料484,000円（税込）／1名
◆会　員　外 …… 受講料605,000円（税込）／1名

●有資格者優待

当協会の認定する下記資格を持つ方は優待料金にてご受講いただけます。
（対象:「物流技術管理士補」「物流技術管理士」「グリーンロジスティクス管理士」「物流現場改善士」）

◆当協会会員 …… 受講料424,000円（税込）／1名
◆会　員　外 …… 受講料545,000円（税込）／1名

●単 元 聴 講

特定の単元のみご受講いただくことができる制度です（第１・9単元を除く）
現地見学（東京港）は第３単元、オンライン現地見学（成田空港）は、第４単元に付随するプログラムです。
（1単元・1名様あたりの金額：消費税込み）

◆当協会会員 …… 第2･5単元… 90,750円/単元　第2･5単元以外の各単元…60,500円/単元
◆会　員　外 …… 第2･5単元…101,640円/単元　第2･5単元以外の各単元…67,760円/単元

●受講料に含まれるもの

①テキスト、資料代 ②審査料

●定　員

36名（定員になり次第締切：最少催行人数 18 名）

●受講申込方法

◆WEBで受け付けています。
当協会ホームページの本プログラムのページよりお申し込みください。

トップ → 教育研修 → 講座･コース → 国際物流管理士資格認定講座

※当協会のホームページは www1.logistics.or.jp または「JILS」で検索してください。

●事前に必ず以下をご確認ください。

日本ロジスティクスシステム協会（以下「主催者」という）が定める「JILSオンライン研修受講にあたってご了承いただきたいこと（※）」と、以下の事項の内容をお読みいただき、内容についてご理解、ご承諾のうえお申込みください。
（※確認先URL：https://www1.logistics.or.jp/Portals/0/pdf/onlinekensyu.pdf）

◆本講座の受講は申込時に登録した受講者に限定し、1人1台のデバイスでご参加いただきます。
◆主催者に起因する事由や不測の事態により通信が中断した場合は、録画した本講座を期間限定で配信します。
◆受講者に起因する事由により通信が中断した場合は、主催者は責任を負わないものとします。
◆本講座の録画、録音、撮影は禁止します。
◆受講者により運営を妨げるおそれのある行為がある場合、対象者の受講を中止させることがあります。
◆テキストは各単元の開講日前に電子データ（PDFファイル等）で受講者に配付します。

＜Zoomについて＞
◆本講座はZoomミーティングもしくはウェビナーを利用して実施します。事前に受講で利用するデバイス（カメラやマイク機能のあるもの）にミーティング用Zoomクライアントをインストールのうえ、Zoom接続テストURL（※）にアクセスし、受講に支障がないことを確認してください（Zoomクライアントが利用できない場合は、ご参加いただけません）。
◆本講座のスムーズな進行のため事前のインストール、接続テスト、諸機能の把握等へのご協力をお願いいたします。
（※Zoom接続テストURL https://zoom.us/test）

＜Microsoft office について＞
◆ 演習にてMicrosoft officeのExcelやPowerPointを使用します。これらのアプリケーションを利用できるデバイス、環境にてご受講ください。

●受講料お支払い方法

【受講料支払い方法】
◆ WEB請求書で請求いたします。
◆ WEB請求書は原則として派遣責任者のE-mail宛に送付いたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。
◆振込手数料は、お客様にてご負担願います。

【お願い】
◆ 受講予定の方のご都合が悪い場合は、全単元を代理の方がご受講ください。なお、代理の方のご受講も不可能な場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。
（注）参加申込をキャンセルする場合は、事前にプログラム内容の問い合わせ先にお申し出ください。

【キャンセル規定】
開催30日前～15日前（開催日初日を含まず起算）……受講料の10%
開催14日前～８日前 ……受講料の20%
開催７日前～前々日 ……受講料の30%
開催前日および当日 ……受講料の全額
※キャンセル料は原則として消費税を除く受講料をもとに計算

●受講申込先・プログラム内容の問い合わせ先・演習会場（JILS研修室）

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 JILS総合研究所　〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディアム3階
WEB（国際物流管理士資格認定講座）：https://www1.logistics.or.jp/education/ilm.html　E-mail: ilm@logistics.or.jp

◆個人情報の取り扱いについて

日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。
詳細は、当協会のプライバシーポリシー（https://www1.logistics.or.jp/privacy.html）をご覧ください。
なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本講座に関する確認・連絡・受講者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

JILS ホームページ　https://www1.logistics.or.jp